



北九州市で採れる野菜や農業を もっと身近なものに！

給食協会では食育（地産地消）の一環として、北九州市の農業や学校給食に対する理解を深めてもらうため、収穫体験や交流会をおこなっています。

今回は、令和6年6月14日（金）に戸畑区の牧山小学校5年生37名を対象に実施しました。



生産者の松浦剛さん

学校給食応援団のおひとりです

収穫体験

若松区有毛の松浦さんの畑でじゃがいもの収穫体験をさせていただきました。



収穫方法を教えてもらって、いざ、収穫！！

さらさらした土の中を掘ると、ゴロゴロと出てきて大興奮！協力しながら収穫すると、袋はすぐにいっぱいになりました。



松浦さんの畑を見学。葉の形や花の色から何の野菜か予想しました。

交流会

収穫体験後、学校へ戻り、松浦さんと農政事務所の古田さんから農業などについて話を聞いたり、参加者の皆さんと一緒に給食を味わったりしました。



< 生産者に質問をする様子 >

じゃがいもの実のなり方や、台風に負けない野菜を育てる知恵や工夫、風土にあった野菜作りのことなどについて学びました。北九州市で採れる野菜についてもたくさん紹介してもらいました。



【JAさん】



【北九州青果さん】

今日のみそ汁は、松浦さんが育てたじゃがいも入りだよ。収穫したじゃがいもは「カレーにしよう」「肉じゃがにしよう」と話す子どもたち。給食の思い出話などをしながらランチルームで給食交流を楽しみました。

